



成長を願って

3月21日に卒業式を行いました。卒業する112人の旅立ちを、111人の5年生、35人の来賓の皆様、保護者の皆様と職員で見送りました。

今年、卒業生を贈る言葉のテーマは「成長」でした。子どもに関わる人たちが持つ恒久の願いでしょう。成長し続ける人にはいくつかの特徴があるようです。



- 新しいことに挑戦している
- 目標を設定している
- 主体的に行動している
- 自己肯定感が高い
- 人に頼れる
- 柔軟な対応ができる
- 好奇心が強い



このような特徴を持つ人は、仕事上でも成長しますし、人間としても成長します。確かに現代において夢をかなえる人のほとんどはこのような傾向にあるように思います。



親や教師が子どもたちの成長を実感するのはどのようなときでしょう。もちろん身体的な成長を感じる時もありますが、人として成長したなど感じられる時があります。自分の言動に責任を持てるようになったとき、自分の意見だけでなく周囲の意見を素直に受け入れることができるようになったとき、今はできなくても必ずできると未来を考えることができるようになったとき。このような「人間力」が高まったときに、成長を感じられるのではないのでしょうか。

このことは本校の校訓「思い合い 学び合い 志高く」と通じるものがあると思います。本校創立の時から続く、子どもたちの成長を願う先達の思いを改めて感じたところです。



子どもたちの成長の大きな支えは、何といっても保護者の皆様の愛情です。今後とも子どもたちの応援団として、ともに歩みを進めていければと思います。今年度もご協力をいただきましてありがとうございました。